

第三回山頭火ふるさと館自由律俳句大会 受賞作品一覧

【一般の部】 応募数二三一六句・応募者数一二五六人

最優秀賞	防府市長賞	優秀賞	佳作				作品	氏名
陽の匂いこぼさぬように両袖を畳む	ひとりひとりの雨を歩いてゆく傘	手のひらに椿ため息ほどの重さ	寂しいと言えない母を一人置いて立つ	夜汽車が明日を連れてくる	働いて働いて非正規は終わる	想い出まで具になる母のいなり寿司	寂しいと言えない寂しさに生きる	東京都 山田立美 <small>やまだ たつみ</small>
東京都 本山麓草 <small>ほんざんろくそう</small>	東京都 碧井文果 <small>あおいふみか</small>	福岡県 下村修 <small>しもむらおさむ</small>	神奈川県 永田順市 <small>ながたじゆんいち</small>	北海道 刹那 <small>せつな</small>	宮崎県 中山紗絵 <small>なかやまさえ</small>	大阪府 松本俊彦 <small>まつもとしひこ</small>	京都府 藤田美月 <small>ふじたみつき</small>	氏名

※佳作は五十音順

【子どもの部】 応募数一八八三句・応募者数一一三五人

最優秀賞	防府市教育長賞	優秀賞	佳作			作品	氏名
海に消されずずっと続く一人の足あと	あの時の涙が前を向くやじるしに	ひいばあちゃんががんばってるからがんばろう	空向かい咲くひまわり夢ふくらむ	空の弁当箱には愛がある	川の向こうに遊園地があったらいいな	海に消されずずっと続く一人の足あと	山口県 清水琳世 <small>しみずりよ</small>
山口県 中2 清水琳世 <small>しみずりよ</small>	大阪府 中1 渡辺里沙 <small>わたなべりさ</small>	鳥取県 小4 荻野唯 <small>おぎのゆい</small>	岐阜県 中3 猪野里帆 <small>いのりほ</small>	岐阜県 中3 服部隼弥 <small>はっとりしゆんや</small>	山口県 6歳 藤田美月 <small>ふじたみつき</small>	氏名	

※佳作は五十音順

【一般の部】

注射針が抜き取っていく秘め事だらけの血	京都府	岸野由夏里
カラオケボックスで寂しさを吠える	静岡県	清水裕一朗
奪われた日常を思い出と呼ぶ	静岡県	勝又花音
背かれても背かれても吾子	神奈川県	相良文雄
遺影にも言えないことありただ手を合わす	青森県	長根りんこ
時刻表の前に立ち尽くす寒空の下	滋賀県	岩永優希
新しいページがぎざまれる	徳島県	竹内綾
星が帰るころ老犬は飛ぶ夢を見る	福岡県	碧井文果
出かかった言葉を満月が飲み込む	福岡県	青木眸
吐き出せおまえを秋の白い道に	宮崎県	赤木衛
小さくなった鉛筆にたよる大きな夢	沖縄県	赤嶺杏
深呼吸しても心折れたまま	埼玉県	明日原夏斗
何が実るかわからないが種を蒔いている	宮崎県	荒尾洋一
虫の声が静まり本当に一人	沖縄県	新垣優一郎
寝る前のサイレンの音を最後まで聞く	神奈川県	荒川諒和
昨日までは蝉今日からは風	東京都	石倉俊紀
化粧落とすとみんなさみしい顔になる	愛知県	伊藤弘子
親待つ園児のいないいないばあ	東京都	内村佳保
終電車が線を引いて新しい月	神奈川県	絵灯ゆき
満月が抱いてくれそうな大きさ	茨城県	海老原順子
コロナ禍を不自由と思わぬ変わった私	東京都	大須賀一夫
持ち帰り弁当カミュのペスト読む	東京都	小田島比呂
こころのままに春風を踏んでゆく	埼玉県	大野美波
案山子の顔になっている月	東京都	大和田拓
夏は茶がゆ冬はけんちよう炊いて老母と暮らす	奈良県	阿修羅
祖母生きていたただそれだけで	岩手県	小原哲哉
箱の片隅に希望のかけら手にする少女	愛知県	開米正次
いちばん大切絵日記の白いページ	京都府	金澤ひろあき
しあわせの色は変わってゆくよ 紫陽花	京都府	金澤ひろあき
マニキュアの伸びた分にだけ感じるいのち	京都府	金澤ひろあき
平和荘と言う名のアパート壊される	京都府	上岡由佳
不安をポケットの中に隠している	山口県	河村千代子
飲み込んだ不安が溢れ出そうな満月	静岡県	金原みちる
金木犀マスク突き抜け秋を伝えた	福岡県	熊猫太夫
焚火する棟梁の耳の赤い鉛筆	埼玉県	小林秀祐
枯葉色背負ってカマキリ動かず	宮崎県	近藤國法
雨ふる通夜のふるさとのことばがたたかい	広島県	近藤博明
しらないあたしはもう走りだしてる	東京都	さいとうこう
誰も居ない路地へと曲がる	島根県	左近司みのり
	神奈川県	笹本耕治

桜咲いたもう散るしかない
優しい私に鬼が棲む
荒畑に向かつて父が曲がった鍬を振る
人工の息が病室の夜を支配している
傘寿の母西瓜ひとつ抱え遠路来る
一両目二つ目の窓君が居ない春
返事待ちじゃが芋が煮崩れしそうな恋
眠りこんだ道を起こすハイヒールの音
シャツに立つ指先愛しい
梅雨晴に水たまりの雲を蹴り上げる子
園庭の弾ける声はコロナどこふく風
気づかれない大きな傷がある
秋の川面を踊る陽にコロナ禍を忘れ
うち返す白球はこだまより速く
風といっしょにローカル線の旅をする
不安がチョコレートを食べる午前二時
まるで自分へついた嘘くつくつと鍋の灰汁
鏡見てふりかえる人生の顔のしわ
思いがけず紅葉に出会ったビルの谷間
さよならを告げて風がきれい
ひとりで見える空は小さかった
内側だけ減らしゆく黙の靴底
恋しても信用はするな俺は無だから
ころろいろいろめきて騒ぐ夕暮れ
仕事の夢から醒めて、仕事へ行くのだ
帰ってほしくなくて影を踏んだ
時に敵時に味方自転車をこぐ
寝転んで見開きのような夕焼け
窓を開けば笑顔で始まる朝の空
休校が続くグラウンドの哀しみ
ころろを編みたい言葉で足りるのなら
ぼくがぼくであるための毒を吐く
鳥の声追うままに青空を舞う
左岸から白鳥の背わたる三輪車
青空にハサミを入れたように飛行機雲
だいじな命またうばわれた
山よ重いか冬の雲
生きるって何をしても真冬
再会し偶然は必然だよと愛し君
明日は理由もなくやって来る
風は草木の靡きで見える
鮮やかな紅で空ぎゅつとハナミズキ

神奈川県 貞住みえこ
山口県 島田茶々
神奈川県 下村修
神奈川県 下村修
東京都 新濃健
岐阜県 鈴木白湯
岐阜県 鈴木白湯
山口県 瀬戸内光
徳島県 高浜瀬音
茨城県 舘健一郎
山口県 田中久代
徳島県 田村小花
静岡県 ちばつゆこ
東京都 東京花東
山口県 中村好徳
大阪府 中山紗絵
栃木県 西山美千代
山口県 能野秀子
静岡県 野月真人
神奈川県 原野美優
沖縄県 比嘉夢人
山梨県 樋口英子
埼玉県 日向鳴山
山梨県 拓佑
北海道 福島千尋
北海道 福島千尋
徳島県 福徳大生
山口県 藤井香子
沖縄県 古堅愛鈴奈
千葉県 堀卓
東京都 本山麓草
兵庫県 前嶋一博
熊本県 古子
茨城県 松岡月虹舎
兵庫県 松末哲也
新潟県 三浦ユリコ
静岡県 満川恒朗
北海道 山内昌人
佐賀県 山口はるよ
徳島県 山根和也
山口県 和崎治人
栃木県 渡辺純子

【子どもの部】

じいじと走る毎朝変わらない風景	奈良県	中2	井元斐女
いきづまって消しこむに相談する私	山口県	中2	鶉城葵
くものつってひるねしたい	鳥取県	小4	大野木しゅんま
時計が止まれば自由な時間	鳥取県	小4	木原結菜
おやつだったら、あまいものでおねがい	山口県	4歳	藤田鳳一朗
窓から差す朝日を見て始まる一日	山口県	中1	坪井美月
「久しぶり」と声かけたくてかけられない	山口県	中1	大場優輝
よくぼうにおぼれる	鳥取県	小4	岡崎聖菜
この想いを量ろうとしてもこぼれるの	静岡県	中2	神谷愛真
せみからコオロギへ遅めのバトンパス	岐阜県	中3	後藤楓果
シャーペンの色は同じが二人の秘密	奈良県	中2	佐藤舞
運どう会ほう石のようよろこびのあせ	山口県	小4	下川心暖
ともだちさいかいべんきょうさいかいうれしいな	山口県	小4	杉田ひなの
静かに降る雨の中一羽だけ	奈良県	中2	竹村葉歩
青い空と海の出会うところへ行ってみたい	山口県	中2	津秋莉々香
ゆらいでる道歩いて戻る	山口県	中2	林由斗
夕日はまた明日も出てくるよ	山口県	小5	弘中智也
見えない出口猫についていく	山口県	中2	福永琥大
画用紙をななめに破る夏休み	愛知県	中1	水野結雅
風船みたいにふくらんでいくぼくの胸	大阪府	中1	村井七帆
水の空へ全力ダイブ	岐阜県	中3	安田心美
円じんから出た声が走るピッチ	山口県	小4	横道玄
石ころをけて進む森の道	山口県	中2	石川颯人
暗闇の中に小さく光る線香花火	高知県	中3	大崎きらり
町は冬の桜のような静けさ	山口県	中2	渋谷夏輝
虫の音を山や町をめぐって風がはこぶ	岐阜県	中3	横田鈴奈
どんぐりとってもおちてくる	山口県	小1	あきしげみゆ
すずをならすおと、ことりのおと、いいかぜ	山口県	小1	あさえちまき
ふるさとで風になる	山口県	中2	石川颯人
交差点ゆきかう人々それぞれの道	奈良県	中2	乾琴葉
ごめんって言えば良かった	岐阜県	中3	今井統也
登りたい山がありません	愛知県	小2	大形朝穂
七十五年たてど今だ鳩は見つからず	岐阜県	中3	加藤礼惟
引き出しの中に準備されていた手ぶくろ	山口県	小6	金子結香
青空もひっくり返せば星空になる	静岡県	中2	神谷愛真
帰り道つくつくぼうしなく中にひとり	山口県	中3	川上日奈多
外が寒いこのにおい夜はおでんだろう	山口県	小6	河村風汰
ふるさとからがつこうがみえた	山口県	小1	きたがわけんた
くもから雨がやってくる	山口県	小1	きたがわけんた
たいようきょうもぴかぴかしてる	山口県	小1	きたがわけんた
夜の空ペランダから見える月一つ	山口県	中2	木下桃香

コーヒーの香りオレンジの朝日
 真つ白な部屋
 月の光は遠吠えする犬がよく映える
 時間だけが流れた夏
 誰よりもはやく帰れる我ら帰宅部
 あの景色をビンに詰めこんで
 夏休みという名の新幹線
 雪も降れば雨も降るでも最後は晴れる
 あれよあれよとひろがってゆく
 思い出と共に増える寂しさ
 一二三ぜんぶよこぼうだ
 一人で歩く長い道
 金木犀風にのってくる
 暑いから日差しから逃げる鬼ごっこをする
 覚めぬ目のままコーヒーを飲み干す
 気づいたときには消えていた茜色の空
 冬のある朝の宇宙（そら）の視線
 人間は弱いすぐに人を傷つけるから
 ひたすら階段のぼつてみよう
 青春がコロナで終わるこれも青春
 山を歩く私と空を歩く雲
 散ったサクラをつぶさぬようによけながら
 虹の端っこ見つけたラッキー
 この町は大きな迷路だ
 背においすぎて重い体が持ち上がらない
 空見て映る来未のぼく
 さよならの日の満月また会う日まで
 夢で見つけた私の心
 机と顔の距離が近い休み時間
 にじのはしっこいつてみたい
 月を見て泣く
 なつのでんまんぐうひよんとぼつたがとぶ
 山にはねいろんな虫がいつぱいいるんだよ

岐阜県 中3 栗田雫玖
 岐阜県 中3 佐々木心音
 奈良県 中2 佐藤舞
 高知県 中3 眞田幸夜
 山口県 中2 柴崎友希
 岐阜県 中3 末長沙羅
 山口県 中2 末廣光莉
 山口県 中3 高松司
 山口県 中3 瀧星南
 岐阜県 中3 武市さやか
 鳥取県 小4 竹内楓
 山口県 小4 田中こはる
 山口県 中3 長岡鈴華
 山口県 中3 中濱駿太
 山口県 中3 中村涼乃
 山口県 中1 波多野月那
 山口県 中3 波多野羽海
 山口県 中1 花田蒼芭
 岐阜県 中3 林奈直佳
 山口県 中2 福田信人
 山口県 中2 藤田袖花
 山口県 中2 古谷綾菜
 岐阜県 中3 前島美咲
 岐阜県 中3 水野元貴
 岐阜県 中3 宮地優季
 岐阜県 中3 村田大稀
 岐阜県 中3 山崎美琥
 岐阜県 中3 山田祈星
 岐阜県 中3 山田祈星
 鳥取県 小4 山根あお生
 鳥取県 小4 横川晴翔
 山口県 小1 よしざきしゅんや
 山口県 小3 渡邊裕貴